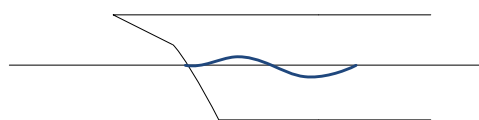


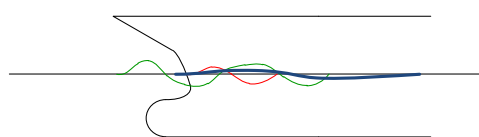


機械科生徒が自作船体模型で造波抵抗を調べる

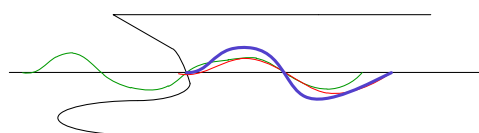
9月9日（月）機械科生徒の課題研究（船体研究班）が新潟造船の技術者から回流水槽で抵抗測定を指導してもらいました。2種類の船首を試験し、抵抗の調査とビルジキールの効果について調べました。



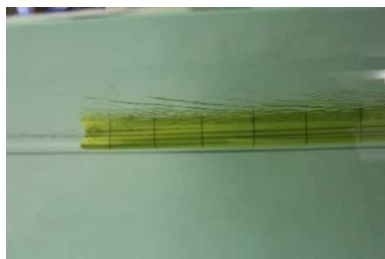
【船首バルブ（無）】



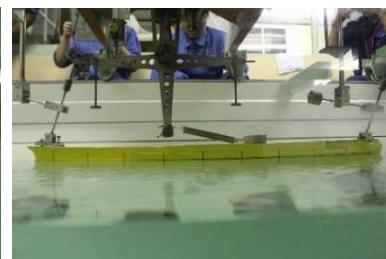
【A 船首バルブ（短）】



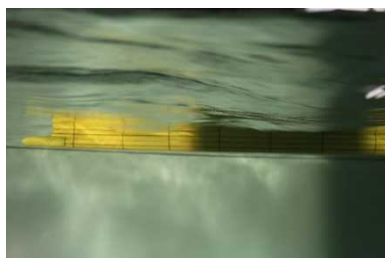
【B 船首バルブ（長）】



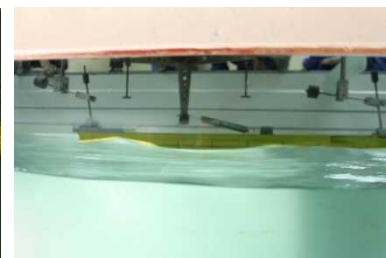
【A 船首バルブ（短）船体】



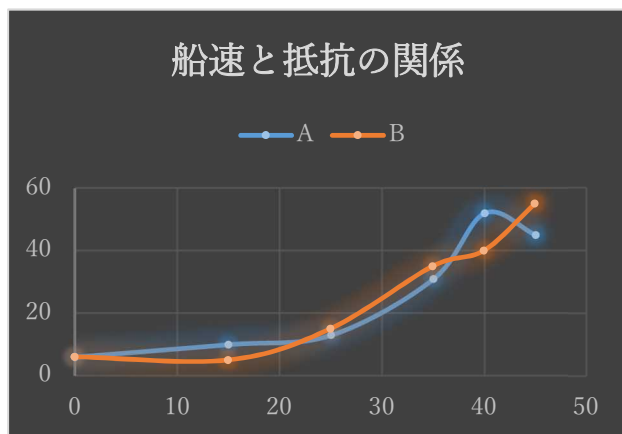
【A 船首バルブ（短）船体】



【B 船首バルブ（長）船体】



【B 船首バルブ（長）船体】



	0 船速	15 船速	25 船速	35 船速	40 船速	45 船速
A	6g	10g	13g	31g	52g	45g
B	6g	5g	15g	35g	40g	55g



【試験風景1】



【試験風景2】

【生徒の感想スキルアップシートより】

- ・新潟造船の技術者の方々から回流水槽の説明と試験手順について説明していただきデータを計測しました。データを学校に持ち帰り評価をしたいとおもいます。
- ・船首バルブが長ければいいと言うものではないことがわかった。
- ・船首の形状と抵抗について新潟造船の技術者の方から考察をもらった。



【職員の感想】

- ・この試験だけでも多くの技術者と海事部職員に立ち会いいただいた。試験方法についてもていねいに優しく指導していただいた。新潟造船様・海事部様には継続して親身に生徒の育成に関わっていただき感謝しています。